

山形西高敷地内遺跡

第7次発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第143集



2005

財団法人 山形県埋蔵文化財センター



やまがたにしこうしきちない

山形西高敷地内遺跡

第7次発掘調査報告書

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第143集

平成17年

財団法人 山形県埋蔵文化財センター



序

本書は、財團法人山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した、山形西高敷地内遺跡第7次の調査成果をまとめたものです。

山形西高敷地内遺跡は山形県の県庁所在地である山形市にあります。山形市は奥羽山脈から流れる馬見ヶ崎川が形成した扇状地上に市街地が広がり、遺跡はその中央に位置しています。

山形西高敷地内遺跡は、縄文時代から現在に至るまで各時代の人々の生活の様子を重層的に知ることのできる貴重な遺跡です。これまでの調査では度重なる馬見ヶ崎川の洪水の痕跡が見つかっています。氾濫にも耐え、繰り返し生活の場所として利用されていました。

埋蔵文化財は祖先が長い歴史の中で創造し、育んできた貴重な国民的財産と言えます。この祖先から伝えられた文化財を大切に保護するとともに、祖先の足跡を学び、子孫へと伝えていくことが、私たちの重要な責務と考えます。その意味で、本書が文化財保護活動の啓発・普及、学術研究、教育活動などの一助となれば幸いです。

最後になりましたが、調査においてご協力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

平成17年3月

財團法人 山形県埋蔵文化財センター

理事長 日野雅夫

本書は、都市計画道路美畠天童線道路改良事業に係る「山形西高敷地内遺跡」の第7次発掘調査報告書である。

既刊の年報、調査説明資料などの内容に優先し、本書をもって本報告とする。

調査は山形県教育庁総務課の委託により、財団法人山形県埋蔵文化財センターが実施した。

出土遺物、調査記録類は、報告書作成終了後、山形県教育委員会に移管する。

調査要項

遺 跡 名	山形西高敷地内遺跡
遺 跡 番 号	29
所 在 地	山形県山形市鉄砲町1-15-46
調査委託者	山形県
調査受託者	財團法人山形県埋蔵文化財センター 理 事 長 日野 雅夫
受 託 期 間	平成16年4月1日～平成17年3月31日
現 地 調 査	平成16年4月19日～平成16年5月13日
調査担当者	調査第一課長 野尻 優 主任調査研究員 黒坂 雅人 調査研究員 高桑 登(調査主任) 調 査 員 関口 正昭
調 査 指 導	山形県教育庁社会教育課文化財保護室
調 査 協 力	山形県教育庁総務課 山形県教育厅村山教育事務所 山形市都市開発部都市整備課 山形市教育委員会

凡　　例

1 本書の作成・執筆は、高桑　登が担当した。

2 遺構図に付す座標値は、平面直角座標系第X系（世界測地系）により、高さは海拔高で表す。

3 本書で使用した遺構の分類記号は下記のとおりである。

S K…土坑 S D…佛 S P…ピット・柱穴 S X…性格不明遺構

4 遺構・遺物実測図の縮尺、網点等の用法は各図に示した。

5 遺物実測図中の拓本について、断面左側を内面、右側を外面とした。ただし、縄文・弥生土器については断面左側を外面とした。

6 基本層序および遺構覆土、遺物の色調記載については、1997年版農林水産省農林水産技術会議事務局監修の「新版基準土色帖」に掲った。

7 委託業務は下記のとおりである。

遺構図作成 株式会社セビアス

目 次

I	調査の経緯	1
II	遺跡の概要	2
III	遺構と遺物	3
IV	総括	5

報告書抄録 卷末

図 版

第1図 調査区概要図	6	第7図 南区遺構実測図	11
第2図 地形分類図	6	第8図 SK009～045, SX003～034 出土遺物	
第3図 遺跡位置図	7	12
第4図 北区遺構配置図	8	第9図 SX034～038 出土遺物	13
第5図 北区基本層序	9	第10図 SX038, 遺構外出土遺物	14
第6図 北区遺構実測図	10	第11図 遺構外, 南区出土遺物	15

表

表1 遺物観察表	16
----------	----

写真図版

写真図版 1	北区調査区設定, 基本層序, SK001	写真図版 6	SK009～SX034 出土遺物
写真図版 2	SK010～SK035	写真図版 7	SX034～038 出土遺物
写真図版 3	SP037～SX038, 北 5・17 グリッド	写真図版 8	SX038, 遺構外出土遺物
写真図版 4	北区基本層序, SD007～SD045	写真図版 9	南区出土遺物
写真図版 5	南区調査区設定・全景・トレンチ		

I 調査の経緯

1 調査に至る経過

昭和 51 年、山形県立山形西高等学校の校舎改築時に縄文時代中期の土器片が出土し、山形県教育委員会が確認調査を実施した。その結果、縄文時代の集落跡を確認し、「山形西高敷地内遺跡」として登録した。

遺跡の発見

同年 4 月に第 1 次調査、7 月に第 2 次調査を実施した。調査によって、縄文時代中期末葉、縄文時代晚期末葉、弥生時代中期、古墳時代前期、奈良・平安時代にわたる複合遺跡であることを確認した。その後、昭和 59 年に校舎改築に伴う第 3 次調査、平成元年に校舎改築に伴う第 4 次調査、平成 4 年に同窓会館建設に伴う第 5 次調査、平成 14 年に同窓会館建設に伴う第 6 次調査を実施している。平成 9 年には山形県教育庁文化財課による施設整備に伴う分布 C 調査も実施された。

第 1 ~ 6 次調査

今回の調査は、都市計画道路天童美郷線道路改良事業による学校敷地と道路境界のフェンス設置に伴うものである。フェンス設置以前に、道路拡張によって移転の必要のある建物と旧フェンスの撤去に伴う立ち合い調査が、県教育委員会によって平成 16 年 2 月に行われた。その結果、新フェンス設置部分についても、部分的な擾乱はあるものの遺構が良好に遺存していることが確認された。関係機関との協議の結果、フェンス設置部分 190 m²について遺跡の保存が困難であるため、記録による保存を行うこととなった。

調査原因

2 調査の方法

フェンス設置工事による掘削深度が現道路面より 55 cm の深さにとどまるため、事前の協議の結果、遺跡調査は掘削深度 55 cm に保護層 10 cm を加えた 65 cm までとした。遺構確認面は 65 cm を超えない深さまでとし、この面から掘り込んでいる遺構と、下層を確認するための部分的なトレーナーについては 65 cm を超えた深さまで掘削している。

掘削深度の制限

西高校門を挟んで北側に北区、南側に南区と 2 カ所の調査区を設定した。南北に細長い調査区の形状に沿って 5 m グリッドを設定し、北区は北 1 ~ 17 グリッド、南区は南 1 ~ 9 グリッドとした。グリッドの南北軸は座標北より東に 7.3 度傾く。

調査区設定

調査はまず重機による表土除去を行った。現道路面から 65 cm に満たない深さで遺構を確認した場合はその深さを遺構確認面とし、65 cm に達しても遺構を確認できなかった場合はそれ以上の掘削は行っていない。その後、遺構検出、遺構精査、記録作業を行った。遺構未確認部分についてはトレーナーによって下層の遺構面の有無を確認している。5 月 12 日に関係者を対象とした調査説明会を実施し、その後、調査区を埋め戻し 5 月 13 日に調査を終了した。

調査工程

遺物の取り上げについては、遺構出土の場合は遺構と層位、遺構外出土の場合はグリッドと層位を記録して取り上げた。

遺物の取り上げ

整理作業は遺物の洗浄・注記・復元後に分類・抽出を行った。報告書掲載遺物は、遺構出土のものを中心に、遺存状況の良いものを抽出した。抽出遺物について実測、写真撮影を行った。遺物についての作業と並行して、遺構図面の調製、遺構写真的整理を進め、報告書の作成を行った。

整理作業

II 遺跡の概要

1 遺跡の立地と環境

馬見ヶ崎川扇状地

山形西高敷地内遺跡は馬見ヶ崎川扇状地の扇尖部に立地する。標高は約134mを測る。馬見ヶ崎川はたびたび氾濫を繰り返している。本遺跡でも洪水による砂礫層が堆積する河川跡が確認されている。馬見ヶ崎川またはその支流の旧河道に沿って遺跡が分布する（第3図）。

各時代の遺跡の立地

熊の前遺跡（29）等の縄文時代の遺跡は扇頂部から扇尖部にかけて多く分布する。古墳時代以降は扇端部および周辺部に広がり、鳴遺跡（2）のような大規模な集落も営まれる。奈良・平安時代には扇尖部から扇端部にかけて広く遺跡が分布し、長苗代条里（19）のような律令制下の条里の跡見認められる。中世以降は扇尖部に立地する山形城を中心に城下町が形成される。

2 調査の概要

A 基本層序

北区と南区で状況が異なるため別々に記述する。層の記号も北区と南区では対応していない。

北 区 北区では近代以降の盛土と考えられるI層が30～60cmの厚さで堆積する。II層は旧表土と考えられる。III・IV層は奈良・平安時代の遺物が含まれる。V層上面で奈良・平安時代の遺構を確認した。VI層はV層への漸移層、VII・VIII層から縄文時代中期の土器が出土している。北10グリッド付近で部分的に疊層が認められ、これまでの調査で確認されている河川跡と考えられる。

南 区 南区では近代以降の盛土と考えられるI～III層が90～130cmの厚さで堆積する。IV層はV層への漸移層、VI層は黒色シルト層で部分的に粗砂が混入する。VI層はV層に比べ粘性が強く、部分的に縄文時代晚期の土器が出土する。南区南端部でVI層の下は疊層となり南へ向かって下がっている。南区の土壤は全般的に北区に較べて粘性が強く、南区は遺跡の立地する微高地の縁辺部に位置すると考えられる。

B 遺構と遺物の分布

北 区 現路面より65cm以下は掘り下げていないことによって遺構の検出状況に疎密がある。北区北半は65cmに達したIII～IV層上面で遺構を確認したため、遺構の密度が低い。一部深掘りした箇所（北4～5グリッド）で竪穴状の掘り込み（基本層序7～10層・SX038として登録）を確認していることから、V層上面まで下げれば平安時代の遺構が確認できたものと考えられる。北4～6グリッド周辺で遺物が最も多く出土している。北区南半部はV層上面で遺構を確認することができたため、比較的密度が高い。北13～15グリッドにかけて、甌状の溝が密集している。

1～6次調査で甌状遺構は確認されていないことから、微高地の縁辺部に近い今回の調査区周辺が奈良・平安時代の集落の生産域であったと考えられる。

南 区 南区では現路面より65cmの深さに達しても遺構は全く検出されていない。5カ所のトレーンチを設定したところ、一部に縄文時代晚期の土器の集中が認められた。縄文時代晚期の生活域は遺跡南半部の現在のグラウンド部分が中心であった可能性がある。

III 遺構と遺物

1 北 区

遺構実測図または遺物実測図を掲載した遺構・遺物について記述する。遺物の点数はすべて接合前破片数である。検出した遺構の多くは出土遺物と検出面から奈良・平安時代に属するものと考えられる。それ以外の時期と考る場合のみ時期を記述する。

遺 物 の 点 数

A 土坑・柱穴

現地での遺構登録時に径が50cmよりも大きいものを土坑（SK）、小さいものを柱穴（SP）として登録したが、幅の狭い調査区のため柱穴の組み合わせなど遺構の性格を判断することが困難であることから、土坑・柱穴と一括して報告する。

登 錄 の 定 義

SK001（第6図） 北4グリッド、IV層上面で検出。壁面は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。SX003を切る。土師器2点、須恵器1点、縄文土器1点が出土している。

SP009（第4図） 北13グリッド、V層上面で検出。皿状の断面形態を呈する。土師器壺1点（第8図-1）が出土している。

SK010（第6図） 北13グリッド、V層上面で検出。擂鉢状の断面形態を呈する。SD011を切る。遺物は出土していない。

SP012（第6図） 北13グリッド、V層上面で検出。皿状の断面形態を呈する。遺物は出土していない。

SK014（第6図） 北13グリッド、V層上面で検出。東壁は急に立ち上がり、西壁は緩やかに立ち上がる。底面はほぼ平坦である。SK015を切る。遺物は出土していない。

SK015（第6図） 北13グリッド、V層上面で検出。壁面は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。SK014に切られる。遺物は出土していない。

SK016（第6図） 北13グリッド、V層上面で検出。皿状の断面形態を呈する。SD017を切る。遺物は出土していない。

SP028（第6図） 北8グリッド、V層上面で検出。浅い皿状の断面形態を呈する。遺物は出土していない。

SP032（第6図） 北10グリッド、V層上面で検出。皿状の断面形態を呈する。遺物は出土していない。

SK033（第6図） 北11グリッド、III層上面から掘り込まれる。西半は未検出。南半は擾乱によつて破壊される。壁面は直線上に立ち上がり、底面は平坦である。上層にこぶし大の礫が集中する。掘り込み面と形狀から中世～近世の礫石建物の根石と考えられる。上層から体部下間にケズリ調製を施す土師器壺（第8図-2）が3点、下層から平行沈線文の弥生土器（第8図-3・4）が3点出土している。

中世以降の遺構

SK035（第6図） 北2グリッド、IV層上面から掘り込まれる。壁面は直線的に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。縄文土器（第8図-5）2点、土師器1点が出土している。

SP036（第6図） 北7グリッド、SX034床面で検出。擂鉢状の断面形態を呈する。遺物は出土

していない。

SK037 (第6図) 北7グリッド、Ⅲ層上面で検出。壁面は緩やかに立ち上がり底面はほぼ平坦である。北半は未検出。土師器窓（第8図-6）3点が出土している。

SP039 (第6図) 北4グリッド、SX003床面で検出。U字形の断面形態を呈する。須恵器窓（第8図-8）1点、土師器3点、縄文土器1点が出土している。

SK045 (第4図) 北13グリッド、V層上面で検出。南北約80cm、東西約90cmの長方形を呈する。東半は未検出。壁面は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。須恵器窓（第8図-10）1点、土師器8点、縄文土器1点が出土している。

B 溝

SD030 (第6図) 北10グリッド、V層上面で検出。幅約30cm、検出長3.2m。U字形の断面形態を呈する。ほぼ直線に南北に伸びるが、堆積土の類似から、調査区で弧状に曲がりSD029（第4図）とつながる可能性がある。土師器2点、縄文土器1点が出土している。

鉄状遺構 (SD007・008・011・017・040・043・020・022・023・024・025・026) (第4・5図)
北13～15グリッド、V層上面で検出。約10.7mの範囲に分布するが、北を擾乱、南をSX027に破壊されている。幅は20～50cm。断面形態は皿状のもの（北半部に分布）と擂鉢状のもの（南半部に分布）が認められる。底部にピット状の凹凸が認められるもの（SD040）があることから、北半部のピット群（SP009～016等）も鉄状遺構の一部となる可能性もある。SD007から土師器1点、SD017から須恵器1点、土師器（第8図-7）17点が出土している。SD020から土師器1点、縄文土器2点、SD022から土師器1点、SD023から土師器3点、SD024から土師器3点が出土している。前述のように本遺跡で鉄状遺構の初めての検出例となる。

初の検出例

C 性格不明遺構

不定形の形状を呈するものや、竪穴状になるが幅の狭い調査区のため性格の判断がつきにくい遺構を性格不明遺構と一括した。

SX003 (第6図) 北4グリッド、IV層上面で検出。西半は未検出であるが隅丸方形を呈すると考えられる。壁面の立ち上がりは緩やかで、底面は平坦である。SK001・002に切られる。須恵器（第8図-11・12）3点、土師器（第8図-13・14）25点、縄文土器5点が出土している。

SX031 (第6図) 北9・10グリッド、V層上面で検出。東半は未検出。検出長6.8mの浅い落ち込み状の遺構である。周辺部は河川跡に由来する疊層が堆積しており、覆土にも小砾が混入している。遺物は出土していない。

遺物集中域か

SX034 (第6図) 北6・7グリッド、Ⅲ層上面で検出。壁面は緩やかに立ち上がるが、掘方は明瞭でなく、遺物包含層中の遺物集中域の可能性もある。須恵器（第8図15～38）47点、土師器（39～43・第9図44～67）562点、縄文土器1点が出土している。土師器窓の小片が多い。

須恵器窓（第8図-15～19）は回転糸切りのものが多く、蓋、甕、壺等が出土している。土師器は内面を黒色処理し外面下半をケズリ調整した窓（第8図-40～43）、内面を黒色処理し外面をハケメまたはケズリ調整した窓（第9図44～47）、外側面ハケメ調整の窓（第9図49～67）等が出土している。

SX038 (第4・5図) 北4・5グリッドでVI層上面からの掘り込みを確認。トレンチ部で断面でのみ確認している。壁面の立ち上がりはほぼ垂直で、底面はほぼ平坦であるが南半部がやや低

くなる。底面から約8~10cmの高さに2~3cm厚の炭化物の層が認められ、堅穴建物の貼り床と考えられる。須恵器（第9図-69~73）14点、土師器（第9図-74）87点、繩文土器173点が出土している。須恵器は底部回転ヘラ切りのみで、返り部の屈曲の強い壺（第9図-72、薄手の壺（第9図-73）等が出土している。土師器は内面ナデ調整、外縁口縁部付近に爪痕のある壺（第9図-74）が出土している。繩文土器の多くは、縄文時代中期の遺物包含層（Ⅶ層）からトレンチ調査時に混入した可能性がある。

D 遺構・出土遺物

北5・6グリッドから土師器・須恵器が多く出土している。SX038等の平安時代の遺構が多く存在すると考えられるが、今回の調査では掘削深度の制約から明確な遺構を確認するには至らなかった。部分的にトレンチを設定し縄文時代の遺構・遺物の有無を確認した。その結果、Ⅵ・Ⅶ層より縄文時代中期の土器が多く出土した。遺構は未確認だが、従来の調査と同様に下層には

下層の遺構面を確認

2 南 区

前述のように南区では現道路面下65cmでは遺構を確認することができなかった。そのため5カ所のトレンチを設定し、65cmより深い部分での遺構・遺物の有無を確認した。その結果、南区中央部のトレンチ3（第7図）において縄文時代晩期の土器が集中していることを確認した。遺物は深鉢片が多く、小波状を呈する口縁部が認められる（第11図-99~101）。

縄文時代晩期の遺物包含層

トレンチ3のⅥ層から繩文土器78点、トレンチ2のⅥ層から繩文土器3点、トレンチ1のⅦa層から繩文土器42点が出土している。南区北半のトレンチ4・5からは遺物は出土していない。

IV 総 括

今回の調査は面積、掘削深度とともに限定された調査ではあったが、遺跡北半部を中心の第1~6次調査に対し、グラウンド周辺の遺跡南半部の状況を確認できた意義は大きい。

遺跡南半部の調査

北区 北半部はⅢ~Ⅳ層で遺構を確認した。部分的に遺物の集中する地点（SX034）や断面でのみ確認した堅穴建物（SX038）がある。遺物はSX034、SX038からまとまって出土している。遺物の様相やこれまでの調査の一括資料との比較から、8世紀後葉から9世紀初頭と考えられる。須恵器壺の切り離しがヘラ切りのみのSX038がやや古くなる可能性がある。

遺物の年代

南半部ではⅤ層上面で遺構を確認し、本遺跡の調査で初めて畝状遺構を確認した。校舎周辺には堅穴建物が集中する居住域があり、その南東には掘立柱建物群が分布する。居住域の南西に畝状遺構が分布し、生産域であった可能性がある。奈良・平安時代の集落内の場の使い分けが想定できる。また、部分的なトレンチ調査で下層に縄文時代中期の遺構面の存在を確認した。

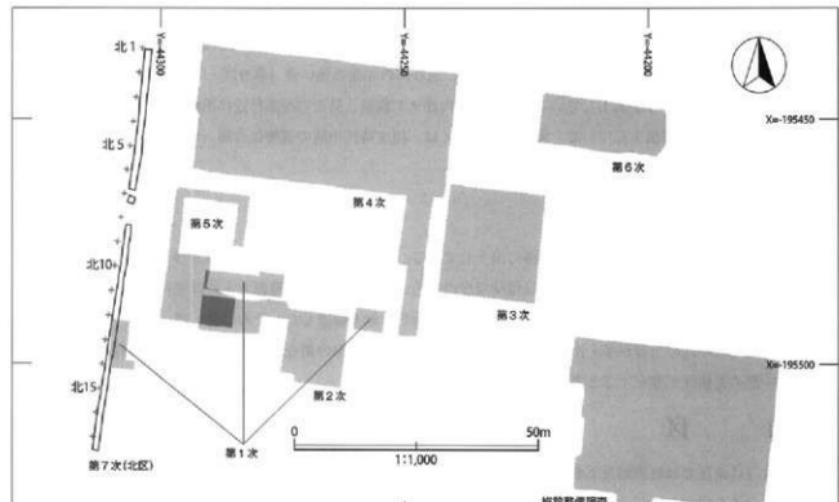
集落内の場の使い分け

南区 北区に較べて土壤が粘質になり、奈良・平安時代の集落の立地する微高地の縁辺部にあたると考えられる。奈良・平安時代の遺構・遺物は検出されなかった。

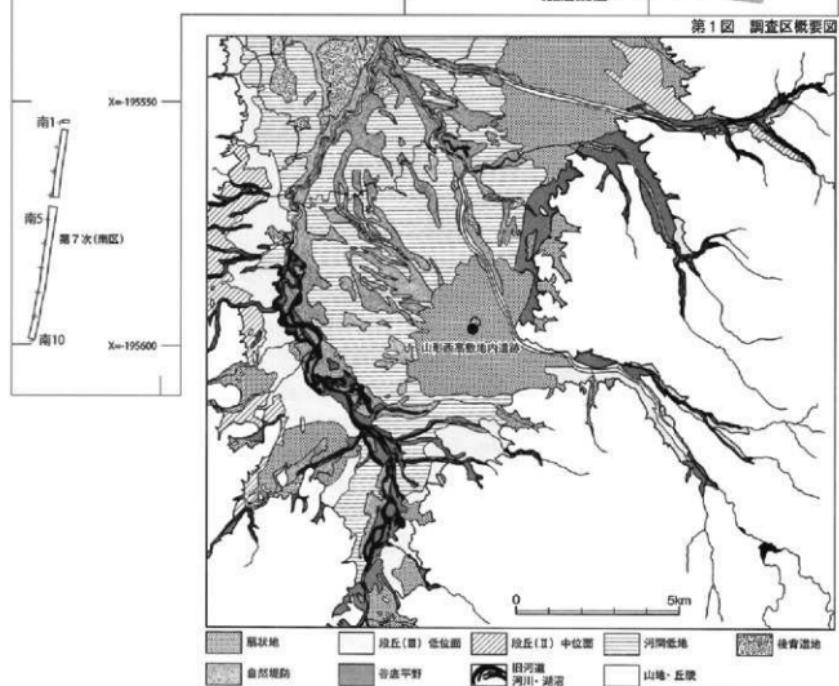
微高地縁辺部

南半部において縄文時代晩期の遺物包含層を確認した。これまでの調査で縄文時代晩期の遺構・遺物は散発的にしか確認されておらず、この時期の集落の中心が遺跡南半部の現グラウンド部分にある可能性がある。

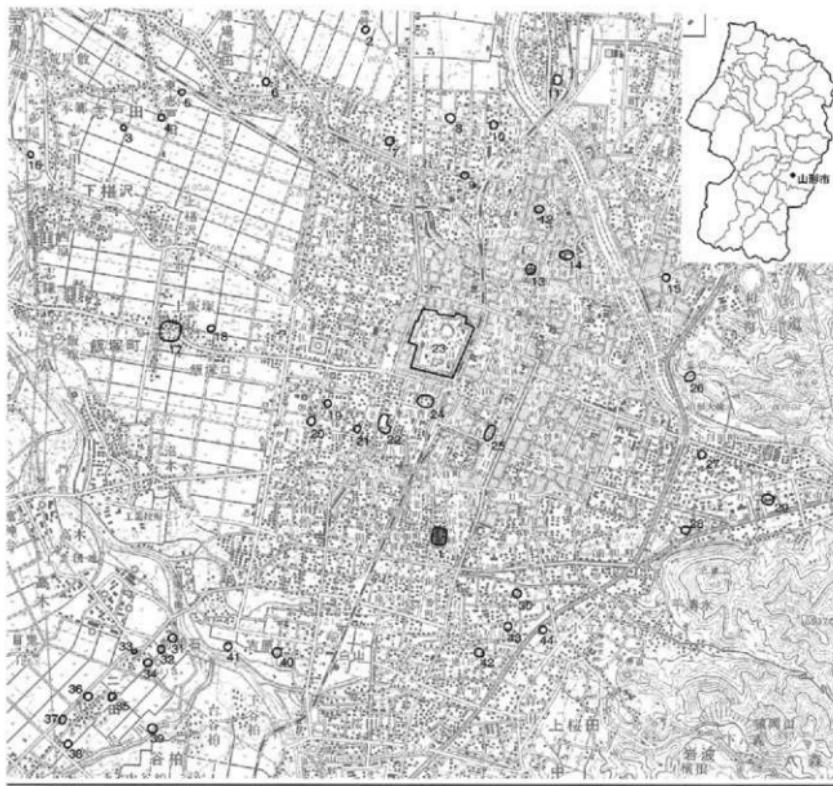
縄文時代晩期の集落



第1図 調査区概要図

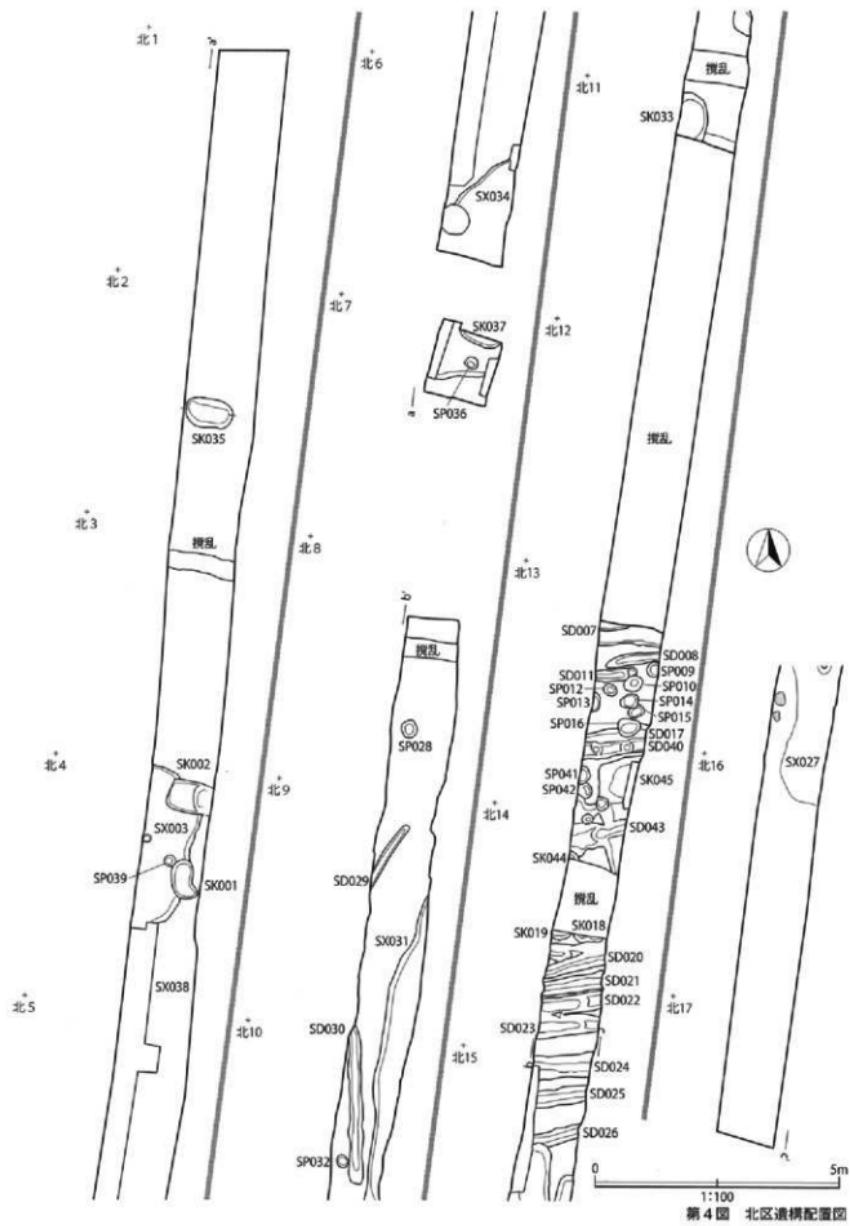


第2図 道路周辺地形分類図

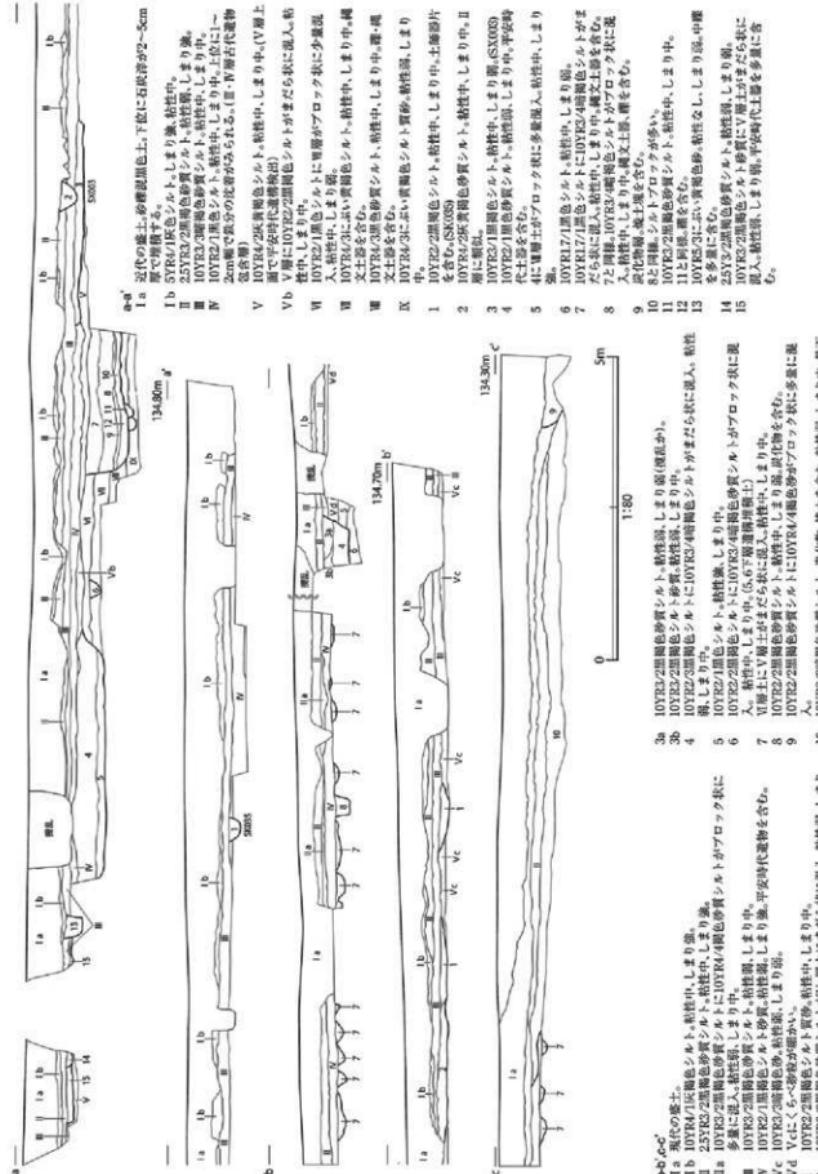


番号	遺跡名	種別	時代	番号	遺跡名	種別	時代
1	山形西高敷地内 集落跡	礎文・奈良～平安		23	山形城 城跡跡	城跡跡	中～近世
2	船 集落跡	古墳		24	城南一丁目 城跡跡	奈良～平安・中～近世	
3	志戸田 包含地	礎文		25	山形城三の丸土櫓 城跡跡	中～近世	
4	塚田 集落跡	発生・古墳・奈良～平安		26	小白川向山 集落跡	古墳	
5	志戸田柵 集落跡	奈良～平安・中世		27	三浦屋敷 城跡跡	中世	
6	陣場 包含地	古墳		28	松山 集落跡	礎文	
7	江尻 集落跡	古墳		29	熊の前 集落跡	礎文	
8	宮町古墳 古墳	古墳・奈良～平安		30	荒鶴 城跡跡	中世	
9	河原田 集落跡	古墳		31	鏡ヶ瀬 集落跡	奈良～平安	
10	穀糞の木 集落跡	古墳		32	落合 集落跡	古墳・奈良～平安	
11	落合柵 城跡跡	中世		33	上り亀下り亀古墳 古墳	古墳	
12	宮町円応寺 集落跡	奈良～平安・中世		34	前明石 集落跡	古墳	
13	宮町三小 集落跡	奈良～平安		35	二位田 集落跡	礎文・平安	
14	業御町五中 集落跡	奈良～平安		36	寺裏 集落跡	古墳・平安	
15	飯田 集落跡	礎文		37	相落 集落跡	古墳	
16	樋沢舎の内 城跡跡	中世		38	萩原 集落跡	古墳・奈良～平安・中世	
17	飯塚館 城跡跡	中世		39	本沢用 集落跡	礎文	
18	飯塚 集落跡	古墳		40	吉原館ノ内 城跡跡	中世	
19	長曲台条里 条里	奈良～平安		41	若宮館 城跡跡	中世	
20	五日町 集落跡	奈良～平安		42	青田 集落跡	奈良～平安	
21	五日町古墳 古墳	古墳		43	松見町 集落跡	中世	
22	山形城三の丸 城跡跡	中～近世		44	永大ハウス裏 包含地	礎文	

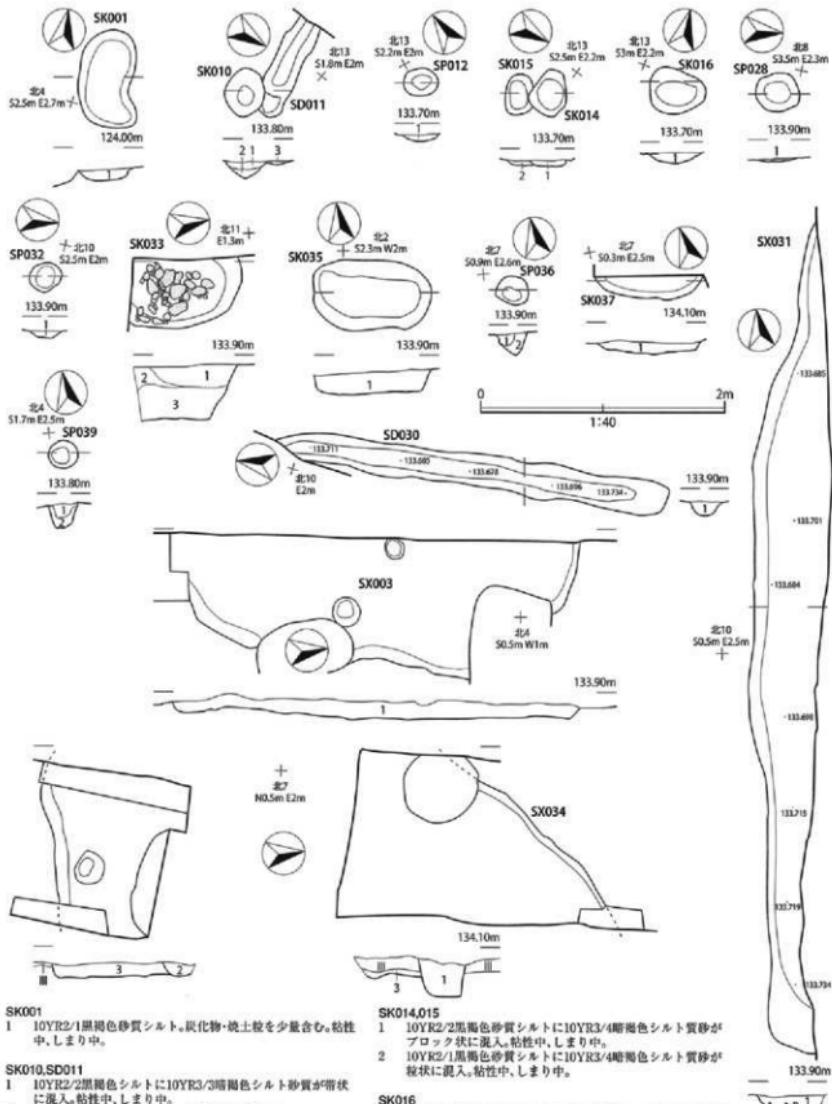
第3図 遺跡位置図(国土地理院発行5万分の1地形図「山形」を使用)



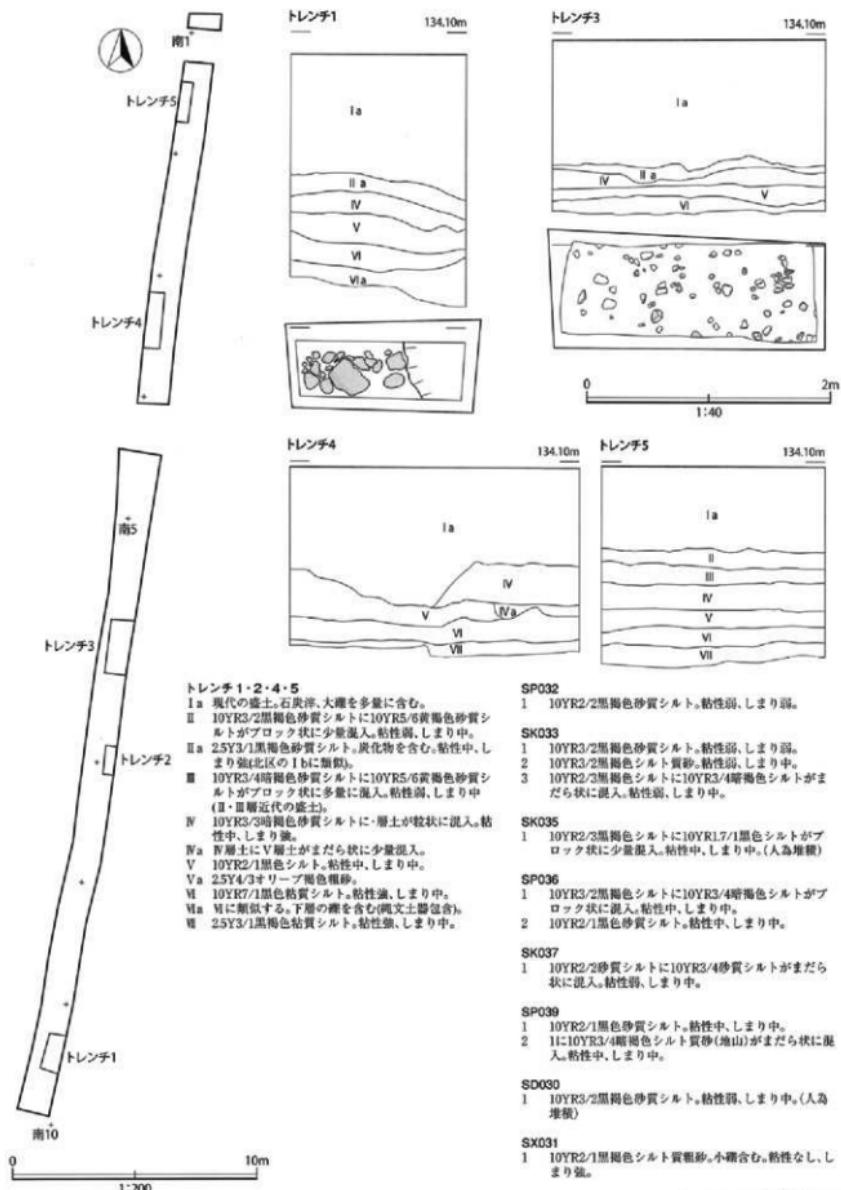
第4図 北区造構配置図



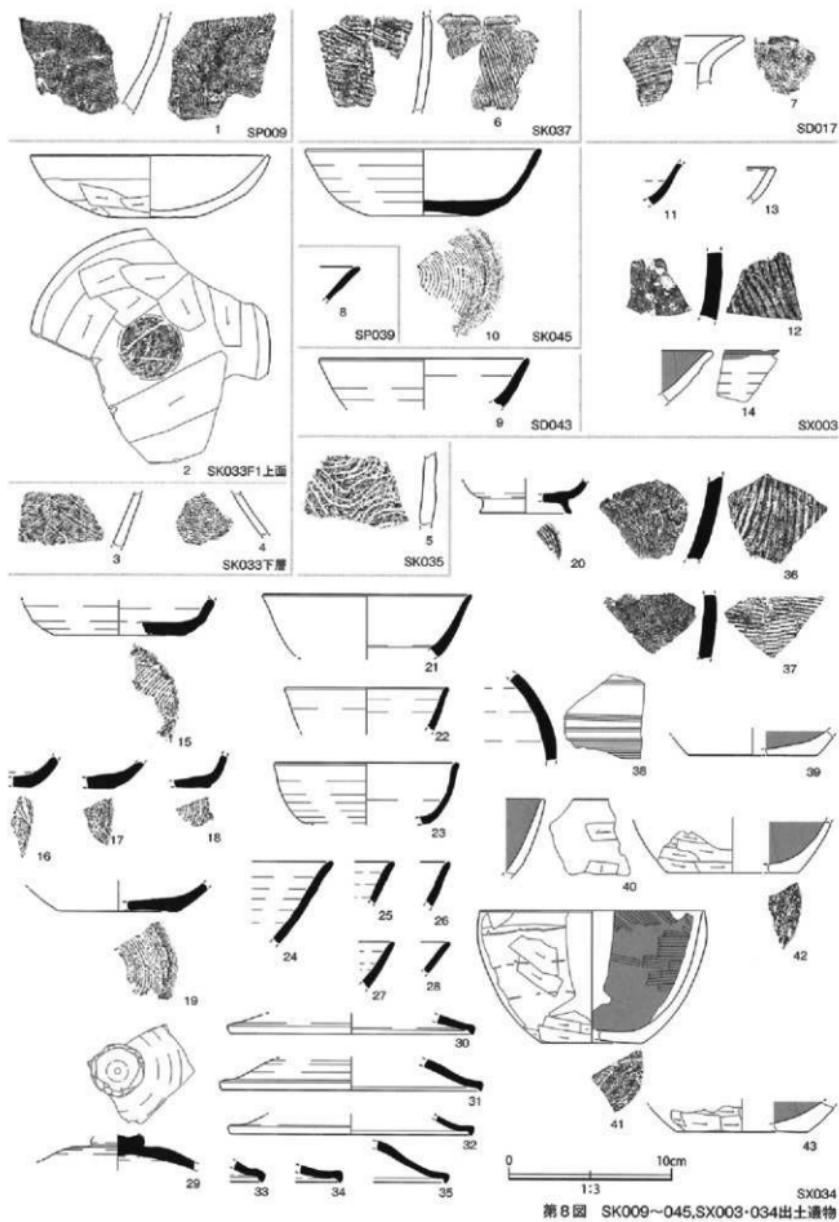
第5圖 北区基本層序



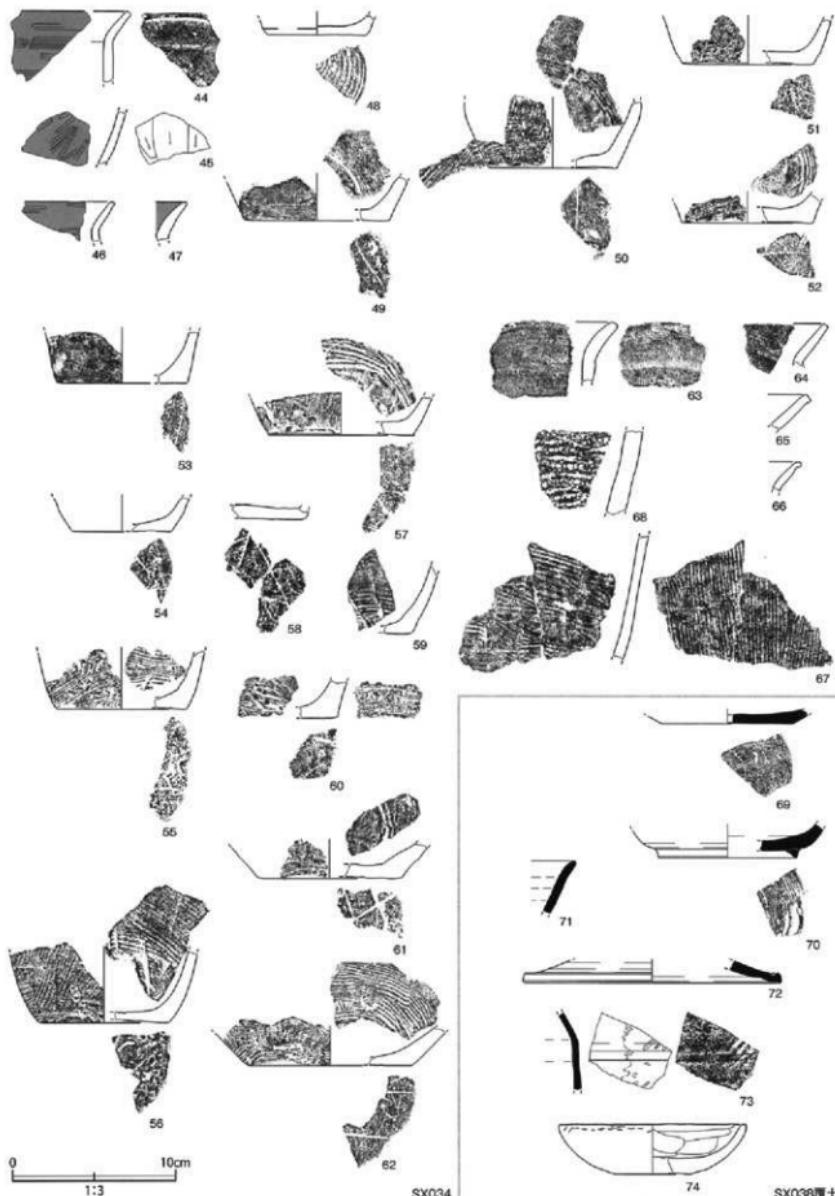
第6圖 北区遺構空測圖



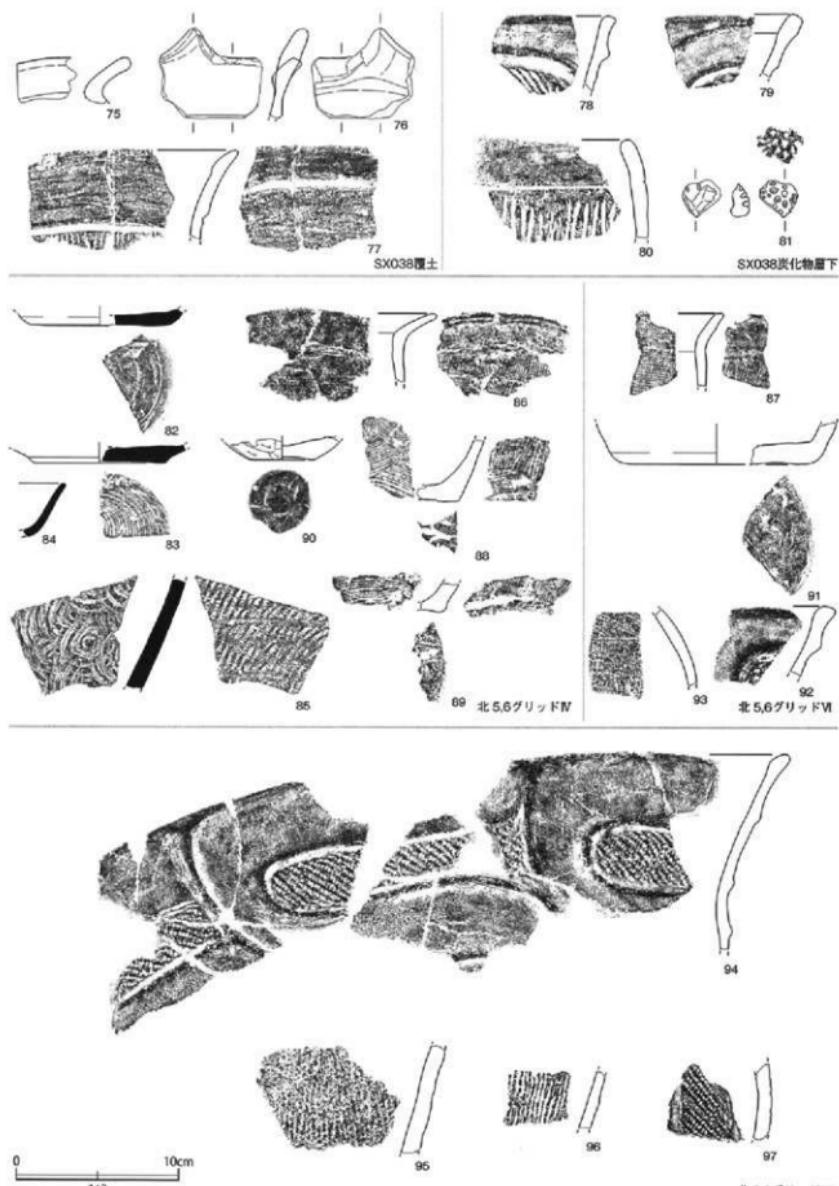
第7図 南区遺構実測図



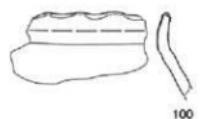
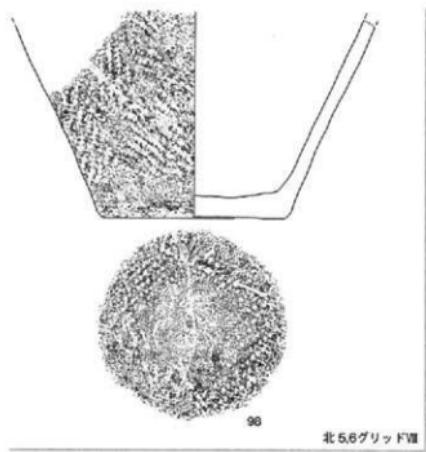
第8図 SK009~045,SX003~034出土遺物



第9図 SX034・038出土遺物



第10図 SX038、遺構外出土遺物



0 10cm
1:3

第11図 遺構外、トレンチ3 VI層出土遺物

表1 遺物観察表

番号	図版	写真 版面	分類	器種	調査 区	出土位置/接合前破片数(接合後破片数)	備考
1	8	6	土器部	甕	北	SK009甕七/1)	(調)体部 (成)非クロ (調)外縁ハケメ/内面ハケメ (色)10YR7/2に赤い黄褐色 (混)白多/黄少
2	8	6	土器部	無台环	北	SK009F1上部/3・北II 3/1(1)	(前)1.0(47)・後40/甕38 (調)口/8～底6/8 (成)非クロ (調)外縁カゲリ/内面ナデ/底部ナデ (色)7.5YR7/4に赤い褐色 (混)黒少
3	8	6	生土器	甕	北	SK003甕下/1(1)	(調)体部 (色)10YR8/3に赤い黄褐色 (混)少 (文)手裁竹管状工具による述縞文 (瓶)桜井式
4	8	6	生土器	甕	北	SK003甕下/1(1)	(調)体部 (色)10YR8/3に赤い黄褐色 (混)少 (文)手裁竹管状工具による述縞文 (瓶)桜井式
5	8	6	陶文土器	陶鉢	北	SK005陶上/1(1)	(調)体部 (色)10YR7/2に赤い黄褐色 (色)10YR6/3に赤い黄褐色 (混)多 (文)大本10式
6	8	6	土器部	甕	北	SK007甕上/1・SX004南側甕上/2(1)	(調)体部 (成)非クロ (調)外縁ハケメ/内面ハケメ (色)10YR6/3に赤い黄褐色 (混)多 (混)少
7	8	6	土器部	甕	北	SX017甕上部/13/1(1)	(調)口/8.5(3) (成)非クロ (調)外縁ハケメナデ/内面ハケメナデ (色)7.5YR7/3に赤い褐色 (混)白少
8	8	6	須恵器	升類	北	SP029甕上/1(1)	(調)口/1.0(3) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)7.5YR7/1赤白色 (混)白少
9	8	6	須恵器	环形	北	SD043甕上/1(1)	(前)1.2(28) (瓶)口/8以下 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)10YR6/1褐色 (混)黒少/白少
10	8	6	須恵器	無台环	北	SK004甕上部/1・SX017甕上部/1・北I 3N/1(1)	(前)1.0(44) (瓶)口/8以下 (前)1.2(28) (瓶)口/8以下 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ/底部斜板系切右 (色)5YR8/1 黄白色 (混)少
11	8	6	須恵器	升類	北	SX009F1/1(1)	(調)体部 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)7.5YR7/1灰褐色 (混)白少
12	8	6	須恵器	大甕	北	SX009F1/1(1)	(調)体部 (成)タタキ (調)外縁タタキ内面ナデ (色)10YR8/1灰白色 (混)白多/赤少
13	8	6	土器部	环形	北	SX009F1/1(1)	(調)口/1.0(3) (成)平 (調)外縁不明/内面小明 (色)7.5YR7/4に赤い褐色 (混)少 (文)摩滅
14	8	6	黑色土器	甕	北	SX009F1/1(1)	(調)口/1.0(3) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ+ミガキ+墨色處理 (色)10YR8/2灰白色 (混)白少/赤少
15	8	6	須恵器	無台环	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(30) (瓶)成(2.8) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ/底部斜板系切(不明) (色)5YR7/1灰白色
16	8	6	須恵器	無台环	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(33) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ/底部斜板系切(不明) (色)10YR8/1灰白色 (混)少
17	8	6	須恵器	無台环	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(33) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ/底部不明 (色)5YR7/4に赤い褐色 (混)白多/赤少
18	8	6	須恵器	無台环	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(33) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ/底部斜板系切(不明) (色)5YR7/1灰 (混)白多
19	8	6	須恵器	無台环	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(4) (瓶)口/2(2) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ/底部斜板系切右 (色)NG/0灰 (混)白少
20	8	6	須恵器	无台环	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(59) (瓶)成(2.8) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ/底部斜板系切(不明) (色)7.5YR6/1褐色 (混)白少 (色)サンドゥイッチ状底成
21	8	6	須恵器	升類	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(28) (瓶)口/8 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)5YR8/1灰白色 (混)少
22	8	6	須恵器	升類	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(39) (瓶)口/8 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)N7.0/0白色 (混)白少
23	8	6	須恵器	升類	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(12) (瓶)口/1.0以下 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)5YR5/2灰褐色 (混)白少
24	8	6	須恵器	升類	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(33) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)10YR7/1灰白色 (混)白少
25	8	6	須恵器	升類	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(33) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)NG/0灰 (混)黒少/白少
26	8	6	須恵器	升類	北	SX004半甕上/1(1)	(前)1.0(3) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)NG/0灰 (混)白多
27	8	6	須恵器	升類	北	SX004北半甕上/1・SX008半甕上/1(1)	(前)1.0(1) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)7.5YR7/1褐褐色 (混)白少
28	8	6	須恵器	升類	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(3) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)NG/0灰 (混)黒少
29	8	6	須恵器	甕	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(3) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)SYR6/1褐褐色 (混)白多 (文)鉢部打ち欠き 内面磨滅
30	8	6	須恵器	甕	北	SX004北半甕上/1・SX008半甕上/1(1)	(前)1.0(48) (瓶)口/8以下 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)10YR6/1褐灰色 (混)白少
31	8	6	須恵器	甕	北	SX004北半甕上/1(1)	(前)1.0(60) (瓶)口/1.0 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)SYR5/1灰 (混)白多
32	8	6	須恵器	甕	北	SX004北半甕上/2(1)	(前)1.0(48) (瓶)口/8以下 (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)N7.0/0灰 (混)白少
33	8	6	須恵器	甕	北	SX004北半甕上/2(1)	(前)1.0(1) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)10YR6/1褐色 (混)白少
34	8	6	須恵器	甕	北	SX004北半甕上/2(1)	(前)1.0(3) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)SYR6/1灰 (混)黒少
35	8	6	須恵器	甕	北	SX004北半甕上/2(1)	(前)1.0(3) (成)クロ (調)外縁クロナデ/内面クロナデ (色)SYR5/1灰 (混)白少
36	8	6	須恵器	大甕	北	SX004半甕上/2(1)	(調)体部 (成)タタキ (調)外縁タタキ内面ナデ (色)SYR5/1灰 (混)白少
37	8	6	須恵器	甕	北	SX004半甕上/2(1)	(調)体部 (成)タタキ (調)外縁タタキ内面ナデ (色)2.5YR7/2灰黄色 (混)白多/黄少
38	8	6	須恵器	甕	北	SX004半甕上/2(1)	(調)体部 (成)クロ (調)外縁カキ目内面クロナデ (色)2.5YR7/1灰白色 (混)黒多 (文)外縁自然崩7.5Y5/3灰オーピー色
39	8	6	蓝色土器	無台环	北	SX004北半甕上/2(1)	(前)1.0 (瓶)口/1 (成)赤ロクロ (調)内面ミガキ+墨色處理 (色)10YR6/2灰白色

番号	図版	写真 固版	分類	器種	調査 区	出土位置/接合前破片数(接合後破片数)	備考
40	8	7	黒色土器	杯	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)口(部)底(1/8以下) (成)非口クロ (調)外面部ケリ/内面ミガキ+黒色処理 (色)10YR3/1灰白色 (混)砂多
41	8	7	黒色土器	杯	北	SX034北半壇土/2(1)	(部)口(137.5/底85.5) (調)外面部(口/底)灰~底白(2) (成)非口クロ (調)外面部ケリ+ナダ/内面ミガキ+黒色処理 (色)10YR7/2に多い黄褐色 (混)白少
42	8	7	黒色土器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(7) (部)底(1/8) (成)非口クロ (調)外面部ケリ/内面ミガキ+黒色処理/底部ケリ (色)10YR7/3に多い黄褐色 (混)白多/砂少
43	8	7	黒色土器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ケリ/内面ミガキ+黒色処理 (色)7.5YR7/2明褐灰色 (混)赤少
44	9	7	黒色土器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ケリ/内面ミガキ+黒色処理 (混)白多/砂少
45	9	7	黒色土器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(2) (成)非ロクロ (調)外面部ケズリ/内面ミガキ+黒色処理 (色)10YR7/3に多い黄褐色 (混)砂少
46	9	7	黒色土器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ケリ/内面ミガキ+黒色処理 (色)10YR7/3に多い黄褐色 (混)白多
47	9	7	黒色土器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ケリ/内面ミガキ+黒色処理 (色)10YR7/2に多い黄褐色 (混)白少
48	9	7	土師器	無台杯	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(6) (部)底(1/8) (成)ロクロ (調)外面部ロクロナダ/内面ロクロナダ(底部軽く剥離) (色)7.5YR3/3浅褐色
49	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)7.5YR3/3浅黃褐色 (混)赤少
50	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/2(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)5YR7/6褐色 (混)赤多/砂多
51	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)10YR8/2浅黄褐色 (混)砂多
52	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)5YR6/4に多い褐色 (混)砂少
53	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(7) (部)底(1/8) (成)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)7.5YR7/3に多い褐色 (混)赤多/砂少
54	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1-SX038南半壇土/1(1)	(部)底(6) (部)底(1/8) (成)非ロクロ (調)外面部ナダ/内面ナダ/底部無痕 (色)5YR7/4に多い褐色 (混)砂少
55	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(7) (部)底(1/8) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ (色)7.5YR8/3浅黃褐色 (混)砂少
56	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(7) (部)底(1/8) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)7.5YR8/3浅黃褐色 (混)赤少
57	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/2(1)	(部)底(9) (部)底(1/8) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)5YR6/6褐色 (混)白多
58	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/3(1)	(部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)底部無痕 (色)10YR7/3に多い褐色 (混)砂少
59	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)10YR7/3に多い褐色 (混)白少/赤少
60	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)10YR8/3浅黃褐色 (混)砂少
61	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/2(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)7.5YR6/4に多い褐色 (混)赤少/英多
62	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(10) (部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)7.5YR7/3に多い褐色 (混)砂多
63	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ/底部無痕 (色)5YR7/6褐色 (混)白多
64	9	7	土師器	盃	北	SX034北半壇土/1(1)	(部)底(1/8以下) (成)外面部ナダ/内面ハケメ (色)7.5YR7/4に多い褐色 (混)白多/赤多
65	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(2) (成)非ロクロ (調)外面部ナダ/内面ナダ (色)10YR7/2に多い褐色 (混)白少/赤多
66	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ナダ/内面ナダ (色)7.5YR8/3に多い褐色 (混)白少/赤多
67	9	7	土師器	盃	北	SX034南半壇土/3(1)	(部)底(2) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ハケメ (色)10YR7/2に多い褐色 (混)白多/赤多
68	9	7	縄文土器	深鉢	北	SX034南半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)非ロクロ (調)外面部ハケメ/内面ナダ (色)10YR7/3に多い褐色 (混)白多/赤多
69	9	7	須恵器	無台杯	北	SX038南半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ロクロナダ/底部斜面ヘラ切(右) (色)5Y6/1灰褐色 (混)白多/砂少
70	9	7	須恵器	有台杯	北	SX038南半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ロクロナダ/内面ロクロナダ/底部斜面ヘラ切(不明) (色)7.5Y6/1灰褐色 (混)白少 (他)高台斜面付に二重縫
71	9	7	須恵器	環形	北	SX038南半壇土/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ロクロナダ/内面ロクロナダ (色)5Y7/1灰白色 (混)白少
72	9	7	須恵器	盃	北	SX038南半壇土/1(1)	(部)口(15) (部)底(1/8以下) (成)ロクロ (調)外面部ロクロナダ/内面ロクロナダ (色)5Y6/8褐色 (混)白少
73	9	7	須恵器	盃	北	SX038南半壇土/1(1)	(部)底(2) (成)ロクロ (調)外面部ロクロナダ+タキナ (内面ロクロナダ) (色)5Y6/1灰褐色 (混)白少 (他)外面部一部自然物
74	9	7	土師器	無台杯	北	SX038南半壇土/7(2)	(部)口(14/底47/器30.5) (部)底(5~8) (成)非ロクロ (調)外面部ナダ/内面ナダ (色)7.5YR6/4に多い褐色 (混)砂少 (他)外面部縁部に爪痕
75	10	8	縄文土器	深鉢	北	SX038F1/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (色)10YR4/1灰褐色 (文)縄目区画 (他)大木10式
76	10	8	縄文土器	深鉢	北	SX038F2/1(1)	(部)底(8) (部)底(1/8以下) (色)外面部無文部分研磨調整 (色)10YR6/2灰褐色 (混)砂多/赤多 (文)ねじれたような形状の有孔突起 (他)大木10式表面

番号	図版	写真 図版	分類	器種	調査 区	出土位置/接合前破片数(接合後破片数)	備考
77	10	8	縄文土器	深鉢	北	SX038復上2/1)	《部(道)》口1/8以下 (周)口縁部よこナデ調整/外面R路余文 (色)10YR7/2にぶい黄褐色 (周)砂多 (文)沈雜で区画された口縁部無文帯 (他)粗製土器 大木10式新段階
78	10	8	縄文土器	深鉢	北	SX038軟化物削下1/1)	《部(道)》口1/8以下 (周)外面LR端文/外面部分研磨調整 (色)25YR7/6橙色 (周)砂多 (文)沈雜を伴う絞錐区画 (他)大木10式中段階
79	10	8	縄文土器	深鉢	北	SX038軟化物削下1/1)	《部(道)》口1/8以下 (周)外面無文部分研磨調整 (色)5YR7/6橙色 (周)砂多 (文)沈雜を伴う絞錐区画 (他)大木10式新段階
80	10	8	縄文土器	北	SX038軟化物削下1/1)	《部(道)》口1/8以下 (周)外面R路余文/口縁部ヨコナデ調整 (色)75YR7/2明褐灰色 (周)砂多 (文)沈雜で区画された口縁部無文帯 (他)粗製土器 大木10式新段階	
81	10	8	縄文土器	不明	北	SX038軟化物削下1/1)	《周(道)》全体 (色)75YR7/6灰褐色 (周)砂多 (文)薄黄文
82	10	8	網底器	無合环	北	北6V1/1)	《周(道)》底内 (周)砂2/周 (底)ロクロ (周)外面ロクロナデ/内面ロクロナデ/底部網軸へラ切(不明) (色)10YR8/1灰白色 (周)砂少
83	10	8	網底器	無台坪	北	北6V1/1)	《周(道)》底内 (周)底 (周)ヨコ (底)ロクロ (周)外面ロクロナデ/内面ロクロナデ/底部網軸切(右) (色)10YR8/2灰白色 (周)黄少
84	10	8	網底器	環類	北	北6V1/1)	《周(道)》口1/8以下 (周)ヨコ (周)外面ロクロナデ/内面ロクロナデ (色)75Y5/1灰色 (周)砂少
85	10	8	網底器	裏	北	北6V1/1)	《周(道)》全体 (底)タテキ (周)外面タテキ (底)10Y5/1灰色 (周)黒少/白少/薄多
86	10	8	土罐器	裏	北	北5V1/1)	《周(道)》口1/8以下 (底)ヨコ (周)外面ハケメナナデ/内面ハケメナナデ (色)5YR7/4にぶい橙色 (周)砂多
87	10	8	土罐器	裏	北	北6V1/1)	《周(道)》口1/8以下 (底)ヨコ (周)外面ハケメナナデ (色)75YR7/6橙色 (周)白少
88	10	8	土罐器	裏	北	北6V1/1)	《周(道)》底1/8以下 (底)ヨコ (周)外面ハケメナデ/内面不明/底部不明 (色)10YR8/2灰白色 (周)白少
89	10	8	土罐器	裏	北	北5V1/1)	《周(道)》底1/8 (底)ヨコ (周)外面ハケメナ/内面ハケメ/底部素板 (色)75Y7/4にぶい橙色 (周)砂多
90	10	8	土罐器	裏	北	北5V1/1)	《周(道)》底1/8 (底)ヨコ (周)外面ハケメナ/内面ナデ/底部ケリ (色)10YR6/2灰褐色 (周)黒少/白少/英多
91	10	8	土罐器	裏	北	北5V1/1)	《周(道)》底1/10 (周)ヨコ (底)ヨコ (周)外面ナデ/内面ナデ/底部ナデ (色)10YR8/2灰白色 (周)砂多
92	10	8	縄文土器	深鉢	北	北5V1/1)	《周(道)》口1/8以下 (周)外面無文部分研磨調整 (色)75YR7/3にぶい橙色 (周)砂多 (文)沈雜区画 (他)大木10式中段階
93	10	8	發生土器	裏	北	北5V1/1)	《周(道)》全体 (色)10YR6/3にぶい黄褐色 (周)白少 (文)半載竹管状工具による通鑑文 (他)蛭井式
94	10	8	縄文土器	深鉢	北	北6V5/5・北5V7/7・北5V1/2)	《周(道)》口2/周 (周)外面LR端文 (色)10YR6/3にぶい黄褐色 (周)砂多/黄少 (文)無文部分の網縫が複起・連續S字状文 (他)大木10式新段階
95	10	8	縄文土器	深鉢	北	北6V5/1(1)	《周(道)》全体 (周)外面LR端文/内面研磨調整 (色)10YR6/3にぶい黄褐色 (他)粗製土器 大木10式新段階
96	10	8	縄文土器	深鉢	北	北6V1/1)	《周(道)》全体 (周)外面R路余文 (色)10YR6/3にぶい黄褐色 (周)砂多 (他)粗製土器 大木10式新段階
97	10	8	縄文土器	北	北6V1/1)	《周(道)》全体 (周)外面LR端文 (文)沈雜区画 (他)大木10式	
98	11	8	縄文土器	深鉢	北	北6V5/1(1)	《周(道)》全体 (周)外面LR端文/底部網軸 (色)5YR6/4にぶい橙色 (周)砂多 (他)大木10式
99	11	9	縄文土器	深鉢	南	トレンド3/19(1)	《周(道)》口100mm (底)ヨコ (周)外面LR端文 (直前段多条) (文)水波状の口縁溝 (他)粗製土器 晩期
100	11	9	縄文土器	深鉢	南	トレンド3/2/1)	《周(道)》口1/8以下 (底)10YR7/3にぶい黄褐色 (周)砂多 (文)小前状の口縁部 (他)粗製土器 晩期
101	11	9	縄文土器	深鉢	南	トレンド3/1/1)	《周(道)》口1/8以下 (底)10YR6/3にぶい黄褐色 (周)砂多 (文)小波状の口縁部 (他)粗製土器 晩期
102	11	9	縄文土器	深鉢	南	トレンド3/1/1)	《周(道)》底部 (周)外面LR端文 (直前段多条) (色)10YR6/1灰褐色 (周)砂多 (他)粗製土器 晩期
103	11	9	縄文土器	深鉢	南	トレンド3/2/1)	《周(道)》全体 (周)外面LR端文 (直前段多条) (色)10YR5/2灰黃褐色 (周)砂多 (他)粗製土器 晩期
104	11	9	縄文土器	深鉢	南	トレンド3/2/1)	《周(道)》全体 (周)外面LR端文 (直前段多条) (色)10YR5/1灰褐色 (周)砂多 (他)粗製土器 晩期
105	11	9	縄文土器	深鉢	南	トレンド3/7/1)	《周(道)》底内 (周)ヨコ (周)外面研磨調整 (色)10YR5/1灰褐色 (周)砂多 (他)粗製土器 晩期

* (計) : 計測値 () は推定値を示す。 (底(道)) : 道存部位(遺存率) (底) : 底形 (周) : 調査
 (色) : 色調 (周) : 周入物 黒: 黒色 細赤: 半赤色 白: 白色 細: 細粒 黃: 黄色
 (文) : 文様 (他) : その他の

写真図版





北区調査区設定（南から）



北区北半完掘（北から）



北区南半（北8～11グリッド）完掘（南から）



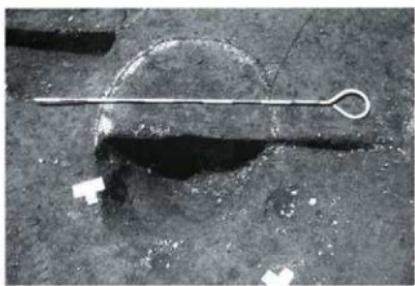
北区南半（北13～17グリッド）完掘（北から）



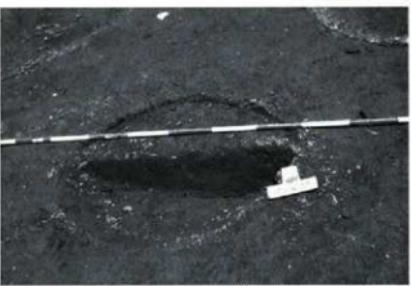
北3グリッド基本層序（南東から）



SK001 完掘（南から）



SK010,SD011 土層断面（北東から）



SP012 土層断面（北東から）



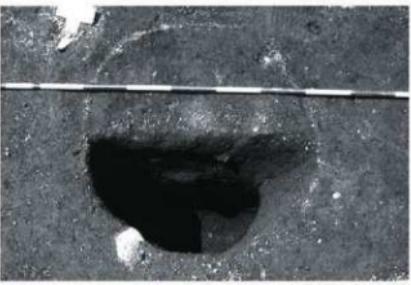
SK014,015 土層断面（北東から）



SK016 土層断面（南から）



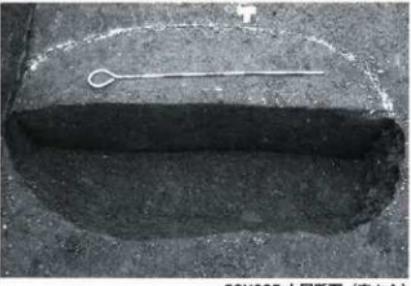
SP028 土層断面（東から）



SP032 土層断面（東から）



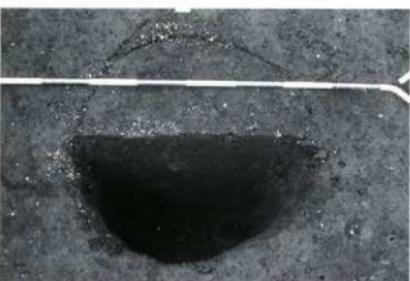
SK033 碓出土状況（北東から）



5SK035 土層断面（南から）



SP036,SK037 土層断面（南から）



SP039 土層断面（南から）



SD030,SX031 完掘（北西から）



SX034 完掘（北西から）



北5グリッドVII層遺物出土状況（北から）



北17グリッド近代遺物出土状況（西から）



北 13 グリッド基本層序（南東から）



北 16 グリッド基本層序（北西から）



SD007 ~ SD040 完掘（北から）



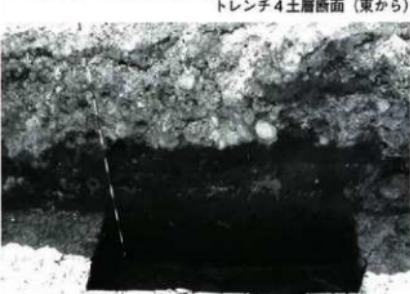
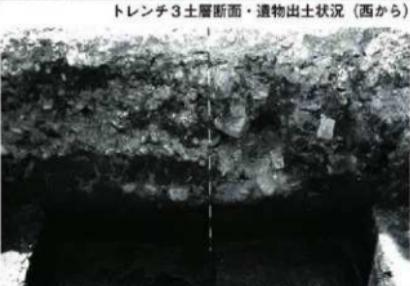
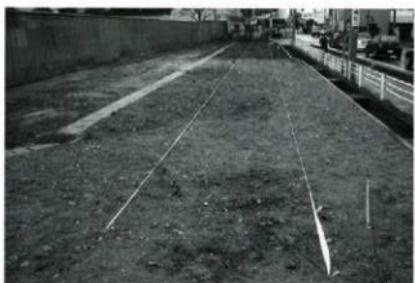
SK018 ~ SD026 完掘（北から）



SD040 ~ SK045 完掘（南から）



SK018 ~ SD023 完掘（北から）





1 SP009



2



5 SX035



6 SK037



SK033



8



SP039



11

12

13

SX003

7

9



10 SK045

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34



30



31



32



34



SX034

35

36



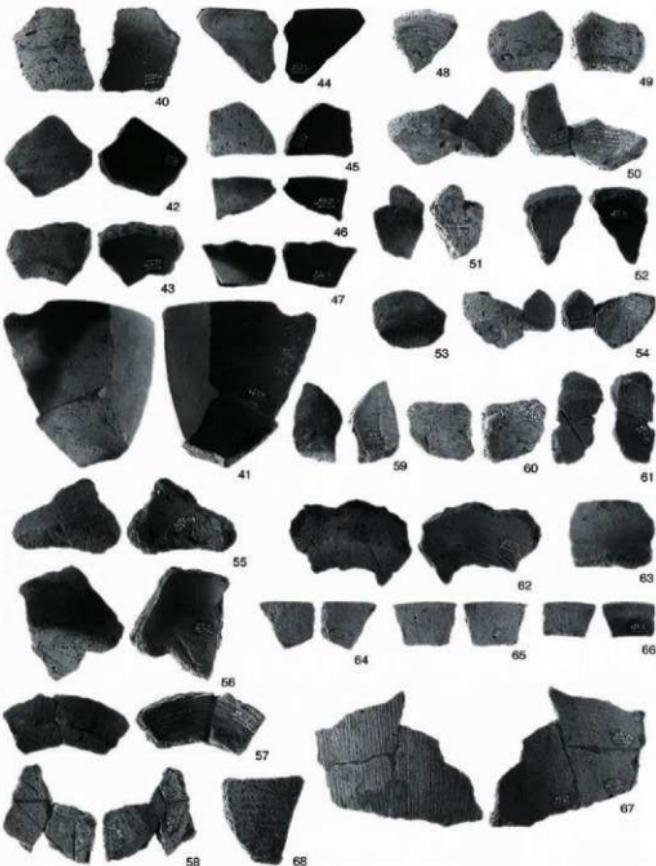
37



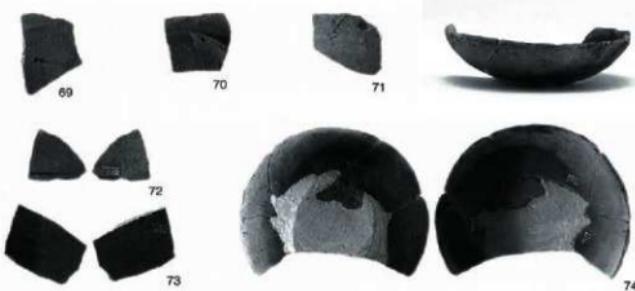
38



39



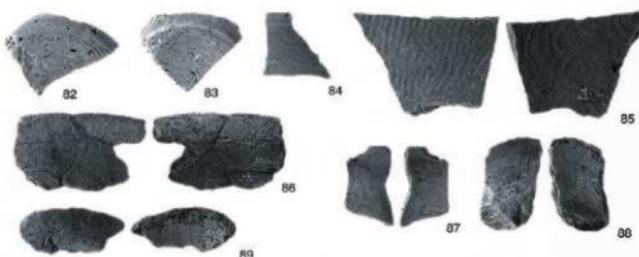
SX034



SX038



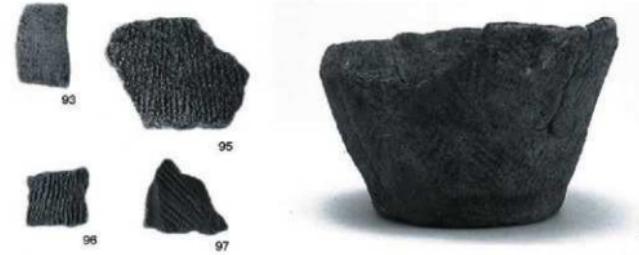
SX038下層



北5,6グリッドIV



北5,6グリッドVI



北5,6グリッドVII



99



100



101



105



102



103



104

トレンチ3 VI層

報告書抄録

ふりがな	やまがたにしこうしきちないせきだい7じはっくつちょうさほうこくしょ								
書名	山形西高敷地内遺跡第7次発掘調査報告書								
副書名									
卷次									
シリーズ名	山形県埋蔵文化財センター調査報告書								
シリーズ番号	第143集								
編著者名	高桑 登								
編集機関	財團法人山形県埋蔵文化財センター								
所在地	〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号 TEL 023-672-5301								
発行年月日	2005年3月28日								
ふりがな	ふりがな	コード	市町村	遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
所取遺跡名	所在地								
やまがたにしこう 山形西高 しきちないせき 敷地内遺跡	やまがたにん 山形県 やまとたんし 山形市 てっぽうまち 鉄砲町 1-15-46	6201	29	38度 14分 17秒	140度 19分 42秒	20040419 ?	20040513	190	都市計画道路美 畑天童線道路改 良事業
種別	主な時代	主な遺構	主な遺物				特記事項		
集落跡	縄文時代	土坑 遺物包含層	縄文土器				縄文時代晩期の 遺物包含層が確 認された。		
	奈良・平安時代	河川跡 土坑 柱穴 礎状遺構	土師器 須恵器				奈良・平安時代 の歴史遺構を検 出した。 文化財認定数：4箱		

山形県埋蔵文化財センター調査報告書第143集

山形西高敷地内遺跡第7次発掘調査報告書

2005年3月28日発行

発行 財團法人 山形県埋蔵文化財センター
〒999-3161 山形県上山市弁天二丁目15番1号
電話 023-672-5301
印刷 株式会社 新庄印刷
〒996-0051 山形県新庄市大字松本114
電話 0233-22-7011